

## 昆虫ベッドの土入れ替えを完了!!

7月27日、30日の両日、箕面国有林エキスポ'90みのお記念の森にある昆虫ベッドの土を交換しました。

この昆虫ベッドは昨年の6月に設置し、ここにカブトムシが産卵したことで、昨年の秋には幼虫が60~80匹いました。今回の土入れ替えの時には、カブトムシの成虫31匹(オス4匹、メス27匹)、サナギ4匹(オス1匹、メス3匹)が土の中にいましたので、50匹以上の成虫になったカブトムシが飛び立ったものと思われます。

土を交換したことで今年もカブトムシが産卵し、多くのカブトムシが飛び立っていくことを期待しています。



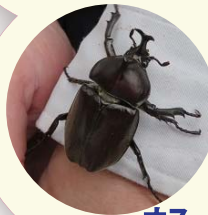
古い土の取出し

土の中では...

たくさん育っていた  
カブトムシ



メス



オス



古い土を取出した後の昆虫ベッド

新しい土



昆虫ベッドには  
新しい土を投入



成虫になり元気に飛び立つカブトムシ

今年もたくさん  
産卵しますように☆



新しい昆虫ベッド完成!



土運びのため何度も往復

## 第1回「箕面体験学習の森」育成・活用事業（Ⅱ）検討委員会を開催

当センターが環境教育等に活用している箕面国有林(大阪府箕面市)内にある「箕面体験学習の森」の具体的な育成及び活用等について検討するため、学識経験者、森林ボランティア活動関係者及教育関係者による専門家委員8名で構成された検討委員会を、毎年度2回程度開催しているところです。

今年度第1回目を、8月26日残暑厳しい中、午前10時から12時までの2時間、箕面国有林にある「体験学習の森」で開催しました。当日は、専門家委員5名、大阪府行政関係者2名、局関係者8名の総勢15名が参加しました。

今回の検討委員会は、新型コロナウイルス感染症対策を講じて行う初めての現地開催で、チェックシートによる出席者の体調確認、手指消毒液の設置、三密を避けつつ、熱中症対策も行つての開催となりました。当センターからは、「台場クヌギ仕立て試験の生育状況」、「エドヒガンの間伐及び間伐木の利用」、「森の動物探検コース(案)の設定」、「中高生向けの学習エリア拡大」、「アカマツ外の除伐箇所」の5つの課題について、各担当者から説明を行い、各委員から助言指導を頂きました。専門家委員からは、「クヌギの一部生育が悪いのはアブラムシの影響であることから殺虫を行うこと」、「十分な太陽光を受けていないため、被陰の影響となっているアラカシの伐採または枝下ろしを行う必要がある」、「エドヒガンの良好な生育を促すためにも早期に間伐が必要である」、「草木染めに利用するとのことであるが、指導者を紹介する」、「森の動物探検コースのポイントに見本を付けると良い」、「ポイントの説明版は耐光性のあるものに変更して常設常置にして広く来場者にPRした方が良い」、「中高生向けのポイント拡大検討箇所については、60年生のヒノキ主体の人工林とあるが、間伐の必要性が分かるポイントにしてほしい」、「アカマツの除伐箇所については9月と10月に実施する考えである」と言った多くの助言や発言を頂きました。また、センサーカメラに写った動物の説明、百人一首に詠まれている植物の生育箇所位置図の説明、職員が創作した紙芝居「雨水のぼうけん」のPRについても行いました。撮影された動物については、「市民へのPR方法を検討すべき」、「森の探検隊百人一首コース案には期待している」などの助言も頂きました。

専門家委員から頂いた意見や助言を踏まえ、地域住民やボランティア団体の協力を得ながら取り組むこととしています。

